

富津市献血推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市献血推進協議会会議録
2 開催日時	平成 25 年 2 月 6 日 (水) 14 時 00 分～14 時 30 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 503 会議室
4 審議等事項	(1)平成 24 年度事業実績報告について (2)平成 25 年度事業実施計画(案)について (3)千葉県の献血状況について
5 出席者名	委員：佐久間清治、正司富夫、三枝奈芳紀 相澤靖司、根津静生、川名忠義、森田久 大野佳志子、永田武憲、高橋進一、 委員代理：福原好子、安齋馨子 千葉県赤十字血液センター島田推進課長、草薙 事務局 岩野健康づくり課長、鈴木課長補佐 高橋主査
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人 (定員 10 人)
9 所管課	健康福祉部健康づくり課健康づくり係 電話 0439-80-1268
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 25 年 2 月 6 日

富津市献血推進協議会 会長 佐久間 清治

平成24年度富津市献血推進協議会会議録

発信者	発信内容
岩野課長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>本日は大変お忙しい中、また天候不順の中、富津市献血推進協議会に御出席を賜りまことにありがとうございます。私は、健康福祉部健康づくり課長の岩野と申します。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひを申し上げます。</p> <p>本日の出席委員は17名中10名の出席で過半数に達しております。</p> <p>本協議会設置要綱第6条第2項の規定により協議会は成立しておりますのでご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日欠席されております委員は、椎津裕貴委員、大野芳明委員高橋進委員、穂山三喜雄委員、鳥海和彦委員の5名でございます。</p> <p>なお、代理として、君津健康福祉センター中川晃一郎委員の代理といたしまして、安齋馨子様、また、富津市赤十字奉仕団小泉とき委員の代理といたしまして、福原好子様が出席しておりますのでご報告申し上げます。委員の紹介並びに事務局の紹介はお手元の座席表により代えさせていただきます。</p> <p>この会議は富津市情報公開条例第23条の規定により会議の公開と会議録を作成し閲覧に供さなければならないこととなっておりますので、傍聴人の受け入れと会議録の公表について、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。また、会議録作成に録音機の使用をさせていただきますので、ご承知お願ひを申し上げます。</p> <p>なお、本日千葉県赤十字血液センター推進課長島田晃様、同じく推進課草薙茂様に出席していただいておりますので、後ほど議題3の千葉県の献血状況について、ご説明いただくことになっておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p>

	<p>それでは、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、本協議会の会長であります富津市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんにちは。ご多用の中、富津市献血推進協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、各事業の推進に率先してご協力ご指導いただきますことを厚くお礼申し上げます。</p> <p>献血は誰でもどこでもできる最も身近なボランティア活動ではないかというように考えております。科学技術が進歩した今日でも、医療に必要な血液は善意による献血に頼らざるをえないという状況でございまして、一方では災害や交通事故など生活環境の変化により、血液の需要は年々増加しているところでございます。このような状況の中、誰でも安心して輸血を受けることができるよう、健康な人が、善意により、かつ無償で自分の血液を提供していただけるように、今後も思想の普及や環境づくりに努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、平成24年度の千葉県の富津市分の献血目標につきましては、すでに達成しているところでございます。また、富津市独自の献血目標でございますが、ほぼ目標を達成できる見込みでございます。</p> <p>本日は年度の途中でございますけれども、平成24年度の事業実績報告と平成25年度の事業実施計画案、千葉県の献血状況についてを議題とさせていただきましたので、よろしくご指導賜りますようにお願い申し上げ、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
岩野課長	続きまして、千葉県赤十字血液センター推進課長の島田様にご挨拶をお願い申し上げます。

赤十字血液センター島田推進課長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>ご紹ひいただきました、血液センターの推進課長をしております島田と申します。</p> <p>皆さんには日頃より多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>お陰様をもちまして、今年度に関しては目標数、確保できておりますので、県内の供給の方は滞りなく行われていると思います。</p> <p>また、詳しいことは追って時間を割いてお話しさせていただきますので、今後よろしくお願ひいたします。</p>
岩野課長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。</p> <p>議事進行につきましては、協議会設置要綱第6条により、会長である市長が会議の議長となることになっておりますので、会長よろしくお願ひ申し上げます。</p>
市長	<p>それでは、議長を務めさせていただきますのでよろしくご協力をお願い申し上げます。</p> <p>議題(1)平成24年度富津市献血推進協議会事業実績報告について、事務局に説明を求めます。</p>
鈴木補佐	<p>はい、それでは平成24年度富津市献血推進協議会事業実績報告の1ページをご覧ください。</p> <p>平成24年度実績は、1月末現在でございますが、「献血実績」は、400ml献血1037人、県の目標620人に対し167%、市の目標1170人に対し89%、200ml献血の実績は198人で、県の目標150人に対し132%、市の目標300人に対し66%、実績合計1235人で県の目標770人に対し160%、市の目標1470人に対し84%でした。延36会場で実施いたしました。</p> <p>現時点では、市の目標までいっていませんが、あと3回の献血実施予定がありますので達成できるのではないかと考えております。</p>

その下になりますが、平成23年度実績は、同じ1月末現在でございますが、「献血実績」は、400ml献血1075人、県の目標640人に対し168%、市の目標1330人に対し81%、200ml献血の実績は274人で、県の目標120人に対し228%、市の目標240人に対し114%、実績合計1349人で県の目標760人に対し178%、市の目標1570人に対し86%でした。延34会場で実施いたしました。

次に、参考として平成23年度の実績がしたにございますが、「献血実績」は、400ml献血1248人、県の目標640人に対し195%、市の目標1330人に対し94%、200ml献血の実績は330人で、県の目標120人に対し275%、市の目標240人に対し138%、実績合計1578人で県の目標760人に対し208%、市の目標1570人に対し101%でした。延40会場で実施いたしました。

次に2ページをご覧ください。

実績の内訳で献血対象、献血会場、採血種別人数、採血者合計、不適格者、合計を実施日順に表にしたものでございます。

4月8日から1月27日までで、日数にして25日実施いたしました。

月別の献血会場数が4月が2か所、5月が5か所、6月3か所、7月2か所、8月1か所、9月7か所、10月2か所、11月6か所、12月3か所、1月5か所で合計36か所、今後実施予定の2月が1か所、3月が2か所で合わせて39か所でございます。

右下の合計は採血者と不適格者の合計で1517人でした。不適格者の282人は、問診や血圧測定、血液検査などの結果により、献血ができなかつた方でございます。

次に3ページをご覧ください。

会場別献血実施者数内訳ですが、イオンモール富津で9回実施いたしました437人ですが、今後2月、3月に1回づつ実施予定でございます。

三枝病院・介護老人保健施設さきくさで、1回8人。

	<p>君津信用組合大佐和支店で1回11人、</p> <p>駒井ハルテック（株）2回76人、</p> <p>新日鐵住金（株）技術開発本部T S館3回78人、</p> <p>新日鐵住金（株）技術開発本部エンジニア館3回139人、</p> <p>タイヘイ電子（株）1回17人、</p> <p>東京電力（株）富津火力発電所3回85人、</p> <p>東京電力（株）協力会社センター3回69人、</p> <p>林時計工業（株）1回11人</p> <p>NSステンレスサービスセンター（株）1回4人</p> <p>（株）荏原製作所2回85人、</p> <p>君津商業高等学校1回32人、</p> <p>介護老人保健施設わかくさ2回14人、</p> <p>特別養護老人ホーム金谷の里1回18人、</p> <p>富津市役所2回151人、</p> <p>富津市役所（富津市赤十字奉仕団と共に）は3月に1回実施予定です。</p> <p>合計1235人でございます。</p> <p>なお、市の事業といたしましては、1個100円程度のハンカチ・ボールペン・マスク等を全会場で配布しております。また、富津地区の会場では富津ライオンズクラブ様にご協力いただきまして、購入していただいたボックスティッシュを配布していただいております。また、富津市赤十字奉仕団様には毎年3月に実施する市役所での献血に協賛していただきまして、洗剤やお菓子を配布していただいております。</p> <p>以上で実績報告を終わります。</p>
市長	<p>ただいまの説明が終わりましたけれども、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いします。</p> <p>ご質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>今、説明申し上げましたように、平成24年度実績報告につきましては、1月末までの実績ということでございまして、まだ、今月2月、3月分を残しておりますので、実施予定もあるということでご承認いただ</p>

	<p>きたいと思います。</p> <p>次に、議題（2）の平成25年度富津市献血推進協議会事業実施計画案について事務局に説明を求めます。</p>
鈴木補佐	<p>はい、平成25年度富津市献血推進協議会事業実施計画案の1ページをご覧ください。</p> <p>平成25年度献血目標ですが、県献血目標は、400ml献血590人、200ml献血150人、合計740人。富津市献血目標は、県献血目標の2倍で設定いたしまして、400ml献血1180人、200ml献血300人、合計1480人でございます。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>実施計画案で、献血対象、献血予定場所、県献血目標人数、富津市献血目標人数を実施予定月順に表にしたものでございます。</p> <p>4月が3か所、5月5か所、6月3か所、7月2か所、8月1か所、9月6か所、10月3か所、11月7か所、12月3か所、1月5か所、2月3か所、3月2か所で合計延43か所を予定しております。</p> <p>会場別に延回数を申し上げますと、イオンモール富津が12回、林時計工業（株）2回、（株）荏原製作所2回、東京電力（株）富津火力発電所3回、東京電力（株）協力会社センター3回、新日鐵住金（株）技術開発本部TS館3回、新日鐵住金（株）エンジニア館3回、介護老人保健施設わかくさ2回、駒井ハルテック（株）2回、富津市役所3回、君津信用組合大佐和支店1回、君津商業高等学校1回、特別養護老人ホーム金谷の里2回、タイヘイ電子（株）1回、三枝病院・介護老人保健施設さきくさ1回、NSステンレスサービスセンター（株）1回、黒田精工（株）1回、延43か所を予定しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
市長	<p>事務局の説明を終わりましたけれど、ご意見等ありましたらよろしくお願いいたします。</p>
相澤委員	<p>非常に細かくて恐縮ですが、新日鐵住金でございます。</p> <p>2ページの表現ですが、東京電力さん富津火力これが101,102会</p>

	議室で1行になっておりますので、私どものTS館、エンジニア館、同じ構内にございますので、1行にまとめていただいてかまいません。細かくて申し訳ございません。
市長	TS館とエンジニア館で人数がちょっと違うのですが、それは構わないでしょうか。
相澤委員	トータルで見ていただいて結構です。建屋が別なので、そういう意味で区別したと思うのですけど、把握しやすいように、一応まとめていいのではないかと思いまして。
事務局	はい、わかりました。ありがとうございます。
市長	他に、ご意見等ございますでしょうか。 他に、ご意見もないようですので、平成25年度富津市献血推進協議会事業実施計画案につきましては、承認させていただきたいと思います。 次に議題(3)の千葉県の献血状況につきましては、千葉県赤十字血液センター推進課長島田様からご説明をお願いいたします。
赤十字血液センター島田推進課長	島田でございます。 では、千葉県の献血状況というこちらの資料を見ていただきたいと思います。 まず、23年度の献血の内訳の状況ですが、千葉県の献血、東日本大震災の影響もありましたが、延べ24万6千人余りの方に献血をいただきまして、受け入れ目標の104.3%ということで、目標のほうは達成をしておりました。これが千葉県の献血者数、全国的にみるとどの辺に位置しているのかということになりますと、献血者数では第6位に位置しております。 参照として、年齢別の献血者推移ということで、右側のグラフで、献血者の内訳ということで、この辺は若年層20代から30代、この辺が減少傾向にあります、40代から60代、あと10代、この辺は微増ですけれども、若干増加しております。23年度はこういう状況だった

すけれども、今年度、市のほうでは1月までというお話をいただきましたが、私の方はまだ1月の数字が固まっておりませんので、12月までのほうで見ますと19万1千人余りの方にご協力をいただいております。これは、今年度の目標の75%くらいまで進捗しておりますので、このまま計画のとおりに献血いただいていければ100%のクリアができるのではと思っております。

続いて医療機関への供給状況ですが、1枚めくっていただきまして、グラフの中、データ的には22年の4月から入れてありますが、グラフのほうは24年の3月で締めさせていただいております。先ほど申しました、東日本大震災の影響によりまして、一時、上がったのですが、そのうち、ちょっと意識が薄れてきたかなという感じもしますが、例年通りくらいにかわっていきました。

今年度の状況すくとも、例年9月から1月、この辺の冬になってくる時期のほうがより血液がない、献血者が減ってくるという状況でございますけれども、昨年同様、今年度もなんとか持ちこたえられたというような状況になっております。

血液自体の使用量は年間ほぼ変わりません。ほぼ一定でございます。すくとも、献血をいただく方としては、していただける方というのは暑い寒いというのもありますが、特に寒い時期今の時期が献血が減ってくるという現状になっております。この時期にいかに献血者を集めるかというところが大事になってくるのですけれども、何とか乗り切ることができたというような状況でございます。

血液の使用状況として、24年12月までで見ますと、200ML献血を1単位と換算をして、62万4千単位あまり、県内の供給量ということになっています。これも、全国的に見てどのへんにいますかというと、これも6位に位置しております。使うのも使う、献血も頂かなければいけない、という非常に厳しい状況でございます。

あと参考で構わないと思いますが、もう1枚めくっていただきまして、年齢別の輸血状況のグラフでございます。

	<p>輸血を受ける方はどういう年代なのかということになりますと、50歳以上の方でだいたい85%くらいを占めていると。若い方は当然ながら輸血を受けることはないということになっています。</p> <p>その下、疾病別の輸血の状況でございます。これは、使われ方はどういう使われ方をしているかというグラフですけれども、ほとんどがんですとか、血液疾患、造血器の病気、この辺のいわゆる治療に使う輸血がほとんどを占めています。先ほど申しました交通事故ですとか、そういうので使われる方も増えているのでしょうかけれども、全体から見れば10%程度でしかないということになります。ですので、病気をしないのが一番ですけれども、病気をしないように気をつけていただき、また輸血を受けないように気をつけていただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
市長	はい、ありがとうございました。ただいま説明が終わりましたけれども、ご質問等おありでしたら、よろしくお願ひいたします。
赤十字血液センター献血推進課草薙	<p>皆さんに、配布しました「愛のかたち献血」という、冊子を見ていただければ、だいたい網羅していると思います。</p> <p>11ページを開いていただくと、よく聞かれる、年齢や献血はどれくらいの期間を開けなくてはいけないか、などの献血基準が載っていますので、後で見ていただけたらと思います。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
永田委員	千葉県の献血状況ですが、右の欄の年齢別献血者推移というのが、平成18年のころから、40歳から49歳と50歳から69歳の方の献血人数が右肩上がりになっています。これは何かやられたのですか？教えてほしいのですけれども。
赤十字血液センター島田推進課長	若年層対策ということで、ここ数年やってきてはいますが、その辺のデータがないので申し訳ありません。
永田委員	はい。わかつたら教えてください。

市長	他にご質問等ございませんでしょうか。
三枝委員	君津木更津医師会の三枝でございます。この中で唯一、血液をいただく方の立場として一言お礼を言いたいと思いますけれども、医療の高度化とかあるいは手術なんかも、最近はどんどんどんどん難しいことが多くなってまいります。そうなるとどうしてもやはり、血液製剤を使っていかないと、という状況も多くなりまして、非常に大きい病院なども使用量が増えているようです。ただ、そういうことによって貴重な命も救えるようになってきていますので、本当に皆さん、御足労だと思いますけど、ご協力いただいて、努力して目標を達成していただけるようお願いしたいと思っております。
市長	他にご質問等ございませんでしょうか。 それではなければ、以上で本日の会議を終了させていただきます。 どうもありがとうございました。